

田辺市  
令和3年度全国大会開催

田辺市は紀伊半島の南西側、和歌山県の中央部に位置する近畿最大の行政区域を有するまちです。西寄りの海岸部に都市的地域を形成、そこから東向きに森林が大半を占める中山間地帯が広がっています。気候は海岸部の温暖多雨な太平洋型気候から山間地における内陸型の気候まで広範囲にわたっています。

また、田辺市は和歌山県・奈良県・三重県にまたがる三つの霊場とそこにつながる参詣道、それらを取り巻く文化的景観で構成するユネスコの世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の中心地に位置しています。

花いっぱいのまちづくり活動としましては、約60のグループや団体が市の「花とみどりいっぱい運動助成金」を活用しながら、それぞれの地域で空き地や道路の緑地帯、公園の花壇等へ、来訪者へのおもてなしの意欲も込めて花の苗を植栽する活動に取り組まれています。

また、当市の花いっぱい運動



2019ねんりんピックを花でおもてなし

を強力に牽引する団体として、NPO法人「花つぼみ」が存在します。1983年に（当時の名称は「花つぼみ会」）11人の花好き仲間が集まって「自分たちの町を花でいっぱいにしたい」とボランティア活動を開始して以来、「花咲かそう！街咲かそう！人咲かそう！」をスローガンに道路のボランティア・サポート・プロダ



春の花まつり





## 新春を迎えて

全日本花いっぱい連盟 会長 菅谷 昭



明けましておめで  
とございます。

新年を迎え、会員  
の皆様には、平素当  
連盟へのご支援ご協  
力に深く感謝申し上  
げますとともに、ご  
健勝とご多幸をお祈  
り申し上げます。

昨年は、第59回全  
日本花いっぱい泉佐  
野市大会が多くの皆  
様のご参加のもと盛  
会裏のうちに開催さ  
れました。大会を通  
じた交流により、さ  
らに「花いっぱい運  
動」の精神が深ま  
り、全国に広がって  
いくことを期待して  
おります。

結びに、各地で  
「花いっぱい運動」  
に取り組まれている  
会員の皆様に重ねて  
敬意を表するととも  
に、ご活躍を祈念し  
て年頭のご挨拶とい  
たします。



ラムとして潤いのある風景づくりへの取り組み  
のほか、新庄総合公園を舞台に「春・ゴールデ  
ンウィーク・秋」に花を主役にしたイベントを  
実施するなど、様々な取り組みが行われていま  
す。

令和3年度に、当市で全日本花いっぱい全国  
大会を開催することが、4月の全日本花いっ  
ぱい連盟総会で可決されました。大会開催時には  
精一杯の花のおもてなしで、皆さまのお越しを  
心よりお待ちしております。

花とみどりいっぱい運動





## 蘭越町（北海道磯谷郡） 花いっぱいのもちづくり

### 蘭越町花いっぱいの会

「蝦夷富士」と称される秀峰羊蹄山をはじめ、雄大なニセコ連峰に抱かれた蘭越町は、町の中央を道南最大の河川「尻別川」が貫流し、その本支流に広がる流域は、肥沃な大地を形成し、全国でもトップクラスの食味を誇る「らんこし米」の生産地となっております。

また、四季を通じて自然が満喫できる地域資源を活用し、活気と存在感あふれるまちづくりに町民一丸となって取り組んでおります。

さて、蘭越町での花いっぱい活動の始まりは、昭和37年にヨーロッパを視察した当時の町長が、公園や職場、家庭に咲き誇る多くの花の鮮やかさに感動し、花いっぱいの町づくりを目指そうと、行政が主体となり活動が始まりました。やがて徐々に町民に浸透し、町の各所に花壇を作成したり、プランターで町を美しく飾ったり、環境美化の推進と花の町づくりを目指し、昭和55年に蘭越町花いっぱいの会が設立されました。主な活動は、花の先進地へ出向き取



立体花壇への花植えの様子

り組み状況の学習、花いっぱい講習会の開催、公共花壇への花苗植え込み作業、町内花壇巡りや研修会など、多様な活動を展開し、北海道知事や環境大臣からの表彰をいただきました。平成16年には緑化運動功労者として、内閣総理大臣表彰を受賞するに至っております。近年は、会員数の減少や会員の高齢化など、以前の活動状況とは少し異なります



花壇巡り

が、非会員でも参加できる複数のイベントの開催や、鉢植えや多肉植物、新しい花苗についての講習会、公共花壇への花苗植え込み作業、花の先進地への視察研修など、変わらず勢力的な活動を実施しております。

「ロマンあふれる花のまち」蘭越町、引き続き多くの花と美しい景観を保つため、事業を推進してまいります。



花いっぱいの会研修会



## 松本市立旭町小学校 あさば野学校応援団「笑顔の会」 花いっぱい・笑顔いっぱいの学校・地域に！

「花いっぱい運動」は、戦後、街が荒廃し人々の心もすさむ中、「社会を美しく・明るく・住みよくしよう」と昭和27年（1952年）に、旭町小学校の小松一三夢（いさむ）先生によって始められました。

そして旭町小学校は、花いっぱい運動発祥の学校として今も活発な活動をしています。

先生は「花いっぱい運動」が地域づくりのためのコミュニティ形成の場となり、花にふれあうことで人々の心を豊かにし、健康で明るく平和な社会を築いていく原動力となることを期待し、この運動を始めました。

旭町小学

校と地域も

花壇を通じ

てつながり

を持ってい

ます。



小松一三夢先生と「花いっぱい運動」発祥の学校の碑



地域の方々と整備をした国道143号線沿いの学校西花壇

4年前「学校東側の正門前花壇は毎年きれいに整備されているのに、西側にある西門付近の国道143号線の歩道に沿った空地は未整備でいるのは寂しい」という意見が旭町小学校の4年生と地域住民からあがり、学校と地域が協働して花壇整備事業がスタートしました。この活動は現在も続き後輩や地域に受け継がれています。

旭町小学校・あさば野学校応援団



きれいな花が咲き誇った  
学校西花壇

「笑顔の会」は「地域の子は地域が育てる」というコミュニティスクールの目標を達成するために、学校と地域が一体となって子どもたちを育てようという目標のもと発足しました。

この会は、地域で歴史や介護などを学習する会や環境衛生、交通安全、民生、町会長などの地区役員といった、日頃から「地域学校協働活動」を自主的に推進している住民を中心に構成されています。この会を通じて学校と地域をつなぐ、様々な活動が行われています。

児童登校時あいさつ運動の他、授業支援、遠足やスケート教室・交通安全教室といった行事への参加協力等を年間通して実施しています。

「活動を振り返って」

私たち四年生は、人権の花を育てました。そして「花を大切にできる人は、人も大切にできる」といったことを考えながら花を育てました。

種をまき、育てた苗を西花壇に植えたり、プランターに植えて公民館等に届けたりもしました。私たちは、これからも

「花いっぱい運動に」取り組んで、たくさんの人を笑顔にしたいです。

（旭町小学校四年生の作文）



自分たちで育てた花を公民館や地域の公共施設へ

### 事務局だより

第60回全日本花いっぱい名護大会が令和3年1月のため、先の理事会・総会で協議をいただき、松本市で7月頃開催しますのでよろしくお願いたします。詳細が決まり次第お知らせします。

#### 第47号

発行日 令和2年10月  
発行 全日本花いっぱい連盟事務局  
長野県松本市中央1-18-11  
Mウイング2F

TEL 0263-3213042  
FAX 0263-3216511